資料1-5

項目	吉井川水系																							
	岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市		美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町	
	国管理/県管理		県管理		国管理		国管理		国管理		県管理		国管理		県管理		県管理		県管理		県管理		県管理	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
1)ハード対策の主な取り組み																								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																								
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 ＜高梁川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ・ダムの事前放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－
・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	－	－	○	○
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○
・応急的な退避場所の確保	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－	×	×	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－	－	－
2)ソフト対策の主な取り組み ①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み																								
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																								
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	×	×	△	△	×	×	×	×	△	△	－	－	×	×	－	－	×	×	－	－	－	－	×	×
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	－	－	×	×	－	－	×	○	－	－	－	－	○	○
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○
・共助の仕組みの強化（水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等）	○	○	○	○	×	×	×	△	○	○	×	△	×	×	○	○	○	○	×	△	×	△	△	△
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	－	－	○	○	○	○	－	－	○	○
・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)																								
・内水の排水活動に資するソフト対策	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	○	－	－	－	－	○	○
■情報の伝達・発信																								
・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	×	○	－	－	－	－	×	○
・洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの適切な運用）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○
＜吉井川・旭川＞ ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 ＜高梁川＞ ・河川水位やライブカメラの情報をリアルタイム	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○	○	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－
・SNSの活用	○	○	○	○	×	×	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	×	×	×	△	－	－	×	○
■防災教育や防災知識の普及																								
・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○
・住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及	○	○	○	○	×	△	×	△	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○
・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○
・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	△	×	×	○	○
2)ソフト対策の主な取り組み ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組																								
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																								
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等への連絡体制の再確認、水防団（水防活動を担う消防団を含む）同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施																								
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた（令和3年度～）実働水防訓練の実施	○	○	△	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	－	－	○	○
・水防活動の担い手となる水防団（水防活動を担う消防団を含む）員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実（水防団（水防活動を担う消防団を含む）確保に係る取組）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	－	－	○	○
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	－	－	○	○	－	－	×	○	－	－	－	－	○	○
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	○
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																								
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																								
・排水機場・樋門・水門等の情報共有（連絡体制など）を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	－	×	○	－	－	－	－	○	○

項目	旭川水系																	
	岡山市		玉野市		赤磐市		真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町			
	国管理/県管理		県管理		国管理		県管理		県管理		県管理		県管理		県管理			
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		
1)ハード対策の主な取り組み																		
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 ＜高梁川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ・ダムの事前放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－		
・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	－	－	○	○		
・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－		
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	×	×		
・応急的な退避場所の確保	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－		
2)ソフト対策の主な取り組み ①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み																		
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																		
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	×	×	△	△	△	△	－	－	×	×	×	×	○	×	×	×		
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	○	○	○	○	○	○	－	－	×	×	×	×	○	○	○	○		
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○		
・共助の仕組みの強化（水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	△	△	×	×		
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	×	○	－	－	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	×	×		
・内水の排水活動に資するソフト対策	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	×	×		
■情報の伝達・発信																		
・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		
・洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの適切な運用）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
＜吉井川・旭川＞ ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 ＜高梁川＞ ・河川水位やライブカメラの情報をリアルタイム	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－		
・SNSの活用	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	×	×	－	－		
■防災教育や防災知識の普及																		
・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
・住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－		
・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○		
・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×		
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×		
2)ソフト対策の主な取り組み ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組																		
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																		
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等への連絡体制の再確認、水防団（水防活動を担う消防団を含む）同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施																		
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	○	○	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた（令和3年度～）実働水防訓練の実施	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○		
・水防活動の担い手となる水防団（水防活動を担う消防団を含む）員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実（水防団（水防活動を担う消防団を含む）確保に係る取組）	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	×	○	－	－	×	×	－	－	○	○	－	－	○	○	○	○		
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																		
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																		
・排水機場・樋門・水門等の情報共有（連絡体制など）を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	○	○	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	○	×	×		

項目	高梁川水系																	
	倉敷市		笠岡市		井原市		総社市		高梁市		新見市		浅口市		早島町		里庄町		矢掛町	
	国管理		県管理		県管理		国管理		県管理		県管理		国管理		国管理		県管理		県管理	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
1)ハード対策の主な取り組み																				
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 ＜高梁川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ・ダムの事前放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	－	－	－	－	－	－	○		○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	－	－	－	－	○	○	○		○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	－	－
・応急的な退避場所の確保	○	○	－	－	×	○	×		○	○	○	○	－	－	△	△	－	－	－	－
2)ソフト対策の主な取り組み ①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み																				
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																				
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	×	×	－	－	×	×	×		×	×	－	－	×	×	○	○	△	△	○	○
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	○	○	－	－	○	○	○		○	○	－	－	×	×	○	○	○	○	○	○
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・共助の仕組みの強化（水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等）	×	×	○	○	×	○	×		○	○	○	○	×	×	○	○	×	△	○	○
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	○	○	－	－	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)																				
・内水の排水活動に資するソフト対策																				
■情報の伝達・発信																				
・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	○	○	－	－	×	×	○		○	○	－	－	○	○	×	×	×	×	×	×
・洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの適切な運用）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
＜吉井川・旭川＞ ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供 ＜高梁川＞ ・河川水位やライブカメラの情報をリアルタイム	○	○	－	－	－	－	－		○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－
・SNSの活用	○	○	○	○	○	○	×		○	○	－	－	×	○	×	△	×	×	○	○
■防災教育や防災知識の普及																				
・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及	○	○	△	△	－	－	－		○	○	○	○	×	×	－	－	○	○	○	○
・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	○	○	○	○	○	○	×		○	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	△	△	×	○	×	○	○		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	○	○	○	○	×	○	×		△	△	○	○	×	×	×	△	○	○	○	○
2)ソフト対策の主な取り組み ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組																				
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																				
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等への連絡体制の再確認、水防団（水防活動を担う消防団を含む）同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施	○	○	－	－	○	○	○		○	○	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－
・水防団（水防活動を担う消防団を含む）等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	○	○	－	－	－	－	△		×	×	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－
・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた（令和3年度～）実働水防訓練の実施	○	○	×	○	○	○	×		○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
・水防活動の担い手となる水防団（水防活動を担う消防団を含む）員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実（水防団（水防活動を担う消防団を含む）確保に係る取組）	○	○	－	－	○	○	○		－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	×	△	－	－	－	－	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組																				
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																				
・排水機場・樋門・水門等の情報共有（連絡体制など）を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	○	○	－	－	○	○	×		－	－	－	－	×	×	○	○	○	○	○	○

項目	自治体（対象外を除く）							
	実施済		着手済 実施中		未実施		実施済 着手済・実施中	
	○		△		×		○△	
	三川全体		三川全体		三川全体		三川全体	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
1)ハード対策の主な取り組み								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備								
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 ＜高梁川水系＞ ・雨量・水位等の観測データ・ダムの事前放流情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)
・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	25 (100.0%)	24 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (100.0%)	24 (100.0%)
・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	22 (91.7%)	21 (91.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (8.3%)	2 (8.7%)	22 (91.7%)	21 (91.3%)
・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	10 (100.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	9 (100.0%)
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	8 (88.9%)	7 (87.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (12.5%)	8 (88.9%)	7 (87.5%)
・応急的な退避場所の確保	3 (30.0%)	4 (44.4%)	1 (10.0%)	1 (11.1%)	6 (60.0%)	4 (44.4%)	4 (40.0%)	5 (55.6%)
2)ソフト対策の主な取り組み ①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み								
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等								
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	3 (15.0%)	2 (10.5%)	4 (20.0%)	4 (21.1%)	13 (65.0%)	13 (68.4%)	7 (35.0%)	6 (31.6%)
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	13 (65.0%)	15 (78.9%)	2 (10.0%)	0 (0.0%)	5 (25.0%)	4 (21.1%)	15 (75.0%)	15 (78.9%)
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	20 (83.3%)	20 (87.0%)	3 (12.5%)	2 (8.7%)	1 (4.2%)	1 (4.3%)	23 (95.8%)	22 (95.7%)
・共助の仕組みの強化（水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等）	12 (44.4%)	13 (50.0%)	1 (3.7%)	6 (23.1%)	14 (51.9%)	7 (26.9%)	13 (48.1%)	19 (73.1%)
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	19 (86.4%)	19 (90.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (13.6%)	2 (9.5%)	19 (86.4%)	19 (90.5%)
・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
・内水の排水活動に資するソフト対策	2 (50.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)
■情報の伝達・発信								
・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	26 (96.3%)	25 (96.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	1 (3.8%)	26 (96.3%)	25 (96.2%)
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	24 (88.9%)	23 (88.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	3 (11.5%)	24 (88.9%)	23 (88.5%)
＜吉井川水系、旭川水系＞ ・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練 ＜高梁川水系＞ ・ダムの事前放流情報等を考慮した多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	12 (54.5%)	14 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (45.5%)	7 (33.3%)	12 (54.5%)	14 (66.7%)
・洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの適切な運用）	27 (100.0%)	26 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (100.0%)	26 (100.0%)
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	22 (91.7%)	22 (95.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2